



羊飼いの気分？  
利用者さんと  
羊たちとのふれあい  
【ローザンベリー多和田（米原市）】

■  
広報

こほりかい

新春号

○発行／湖北会 広報室(法人本部)

○発行者／北野 憲一

○住所／滋賀県長浜市富田町431番地5

○発行日／平成27年1月15日



## 新年のごあいさつ



あけましておめでとうございます。

平成27年（2015年）の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、当法人が実施します各種事業に格別のご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、我が国は、昨年（平成26年）1月に「障害者権利条約」を批准し、いよいよしょうがい者の権利の実現に向けた取り組みが強化され、人権尊重についての国際協力が一層推進されようとしています。ここ数年、この批准に向けて様々な国内法の整備が行われ、障害者福祉は大きく変化を遂げました。平成28年4月の「障害者差別解消法」施行まで、今しばらくその余韻が続くものと思われま。

当法人におきましては、利用者の高齢化や多様化する利用者ニーズに的確に対応するため、絶えず支援の在り方を見直し、経営方針である「その人らしく、地域で働きたい、暮らしたい、楽しみたい」を応援し続けていきたいと考えております。

具体的には、現在提供させていただいているサービスの充実はもちろんのこと、懸案事項としての築30数年を経過し老朽化が著しい「湖北まこも」の改築と、地域生活の拠点となるグループホームの着実な整備を進めていきたいと考えております。

私たち湖北会は、引き続き役職員が一丸となり、チーム湖北会として、原点であるしょうがい当事者のニーズに沿ったサービスを提供していく所存です。

ここに旧年中のご厚情にあらためて深く感謝申し上げますとともに、本年も変わらぬご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

平成27年 正月

社会福祉法人 湖北会

理事長 北野 憲一

役職員一同

## 「ライフまいばら」日中支援活動を充実します！

生活介護施設「ライフまいばら」（施設長：井下山 貴）では、近年の利用者の増加に伴い活動場所がいよいよ手狭となり、事業運営に様々な支障をきたしていました。また、敷地内スペースが限られていることから、職員通勤車の一部を敷地外に駐車せざるを得ず、米原市のご配慮により、市有地を借り、急場をしのいでいました。

これらの課題を一気に解決するべく、法人では、長らく閉鎖されていた隣接のレーク伊吹農協旧東黒田支所の土地・建物取得に向け、これまでレーク伊吹農協と交渉を続けてきたところです。このほど価格を含めた譲受条件について、ようやく最終合意に達することができました。これを受けて、11月26日開催の理事会・評議員会において、関連不動産の取得が承認されました。

今後、早急に受入れ準備を行うことで、更なる利用者の立場に立ったしょうがい者福祉サービスの向上に努めてまいります。引き続き関係者の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



▲敷地外に職員通勤車を停めている状況



▲取得することになった JA 旧東黒田支所



## 赤十字奉仕団様のご支援に 感謝感激です



湖北まこもの清掃活動では、毎年地元（旧湖北町）の赤十字奉仕団様に、大変お世話になっています。通常年間4回、平成26年度は、5/9、7/7、9/8および11/10の4日間、うち1回は全団員の皆様で除草作業をしていただきました。実のところ建物周辺は、雑草が伸び放題で、いつかは赤十字奉仕団様が、清掃奉仕していただけるという甘えもあり、つつい後回しになってしまいがち。「手入れしていないのか。いったい職員は何をしているのか。」とお叱りを受けそうな状態です。そのような中、毎年、真夏の暑い時節にも、きれいに草刈していただいています。年間を通じて、建物周辺の環境美化が整っているのも、赤十字奉仕団様のご支援のお陰です。何度お礼を言っても言い足りないほどです。本当にありがとうございます。

## 新人職員振り返り研修を実施しました

今年で2回目となります新人職員研修でしたが、今回は、ライフまいばらの高木、湖北まこもの川合、さぼてんの嘉村が担当しました。

大きく変わったところは、研修のやり方として、これまで私たちが講師となって勉強してもらうということはずらずに、みんなが、話し合っって課題を共有するというこを、第一の目的にしました。普段、県社協の研修や、その他各施設で色々な研修に参加されているので、せっかく皆さんが集まる機会であることから、皆さんが主役の研修にしたいという趣旨で企画しました。

前回、実施した研修では、時間が足りなかった、終わってからケアがあるので早く戻らなければと言った意見もあったことから、今回は、割と余裕をもつての時間設定としましたが、実際思っていたよりも時間があつという間に過ぎてしまい、目指していたことが、少ししかできない結果となりました。当日参加の新人職員の皆さんも話し足りなかった様子でしたが、自身を見つめるよい機会になったことでしょう。今後、どのような研修がいいのか、いろいろと検討しなければなりません、皆さんにとって意義のある研修になるよう努めてまいります。

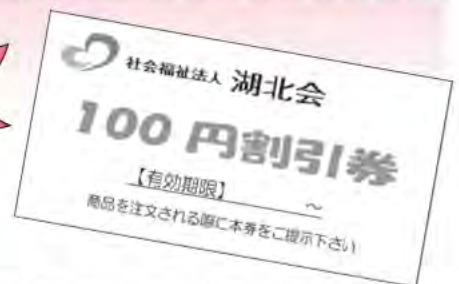
ワークスさぼてん 嘉村 泰夫

## 寄付と後援会入会のお願い

新しく、また継続してご入会いただきありがとうございます。

皆さま方からの支援の輪が、少しずつ広がりにつつあることを嬉しく感じています。

さて、このたび入会いただいた方に、湖北会にて製造および店舗にて取り扱う商品の割引券をプレゼントさせていただきます。商品の詳細は、湖北会ホームページに掲載されていますので、販売する各事業所へ直接にご注文いただき、是非ご賞味ください。



社会福祉法人湖北会后援会の趣旨にご賛同いただき、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。

- |        |    |        |
|--------|----|--------|
| 1.寄付金  |    |        |
| 2.団体会員 | —□ | 5,000円 |
| 3.個人会員 | —□ | 1,000円 |

郵便振替口座  
00950-8-232378  
名義 社会福祉法人湖北会后援会



## ふくらの森一泊旅行

待ちに待った旅行は、11月19日・20日の能登半島方面でした。寒い時期に北へ向かうということで、皆さん気合を入れて冬の装いで参加しましたが、幸いにも天候には恵まれ、心地よい暖かい二日間の旅でした。

一日目は、冬場閑散としている千里浜ドライブウェイ全長8kmのうち2.5kmを波打ち際ギリギリのところを走破し、流れ着いた大陸からのごみも見かけました。夕刻には、早めに宿に着いて、ゆっくりと入浴。おいしい海の幸での宴会・カラオケで盛り上がりました。

二日目、のどじま水族館では、青の世界の回遊水槽でジンベイザメやエイ、ブリなどの回遊魚を間近に見ることができました。イルカ・アシカショーもあり、利用者さんが代表でバンドウイルカと握手したり、演技スタートの合図を行ったり、また投げた輪っかをアシカがうまくキャッチしてくれるなど参加型のアトラクションを堪能でき、楽しい思い出になりました。

二日目の路程が長く、到着時間が遅くなったことや、体調のすぐれない方が別行動となったことは残念でしたが、無事に帰ってくることができました。皆さんが、最後まで仲間のことを気に掛けておられ、やさしさや心の温かさに触れた旅行となりました。



## グループホーム旅行報告

今年のグループホーム旅行は、岐阜県美濃加茂市にある日本昭和村方面でした。日本昭和村は、昭和30年代をイメージして作られたテーマパークです。パーク内は、茅葺き屋根の家や学校、駄菓子屋など昔の昭和の佇まいを再現した町並みがひろがり、当時の暮らしぶりなどが分りやすく展示されていました。利用者さんは、昭和の懐かしい雰囲気を感じられたことと思います。当日は、おいしい昼食を食



された後、それぞれ村内にある20種類以上ある手作り体験教室の中から、アイスクリーム作りや万華鏡作り、たたら作りなど事前に参加希望・予約の各体験教室へ行かれ、同行された職員と一緒に物作りを楽しんでおられました。旅行も終わりに近づくころには、家族や友人へのお土産を買いに行かれる方や、日本昭和村のとなりにある里山の湯(銭湯)に入り、旅の疲れを癒される方など、それぞれグループに分かれての自由行動を楽しまれました。12月の実施となり、寒い時期の旅行でしたが、皆さん寒さを感じさせないほどの楽しい思い出の旅行となりました。

GH支援員 中川暁洋

## こされんクリスマスの集い

こされん加盟8事業所(やまぶき、つつじ作業所、ゆるり、ふくらの森、愛光園、ライフまいばら、ほおずき作業所、いぶきやま)によるクリスマスのつどいが、12月12日米原市内ルッチプラザにて行われました。日頃は、室内作業を中心に行っている利用者の方々は、事業所ごとに自慢の歌や出し物・ダンスなどの発表を行い、各事業所間の交流の場として、楽しい一日を過ごすことができました。





# 湖北会自主製品 取扱店舗 No.1

湖北会自慢の自主製品は、ご覧の店舗等で、取り扱ってもらっています。  
(シリーズ3回でお知らせしていきます。)

● 木之本イカス



● 長浜まちの駅



● 湖北みずどりステーション



● 伊吹野そば



● 醒井水の宿駅



・・・是非とも、お買い求めください・・・

## びわ湖環境ビジネスメッセ初出店

10月22日(水)～24日(金)に長浜ドームにて、びわ湖環境ビジネスメッセが開催され、喫茶コーナー(ドリンク類)に、「ぱんげあ」が出店しました。参加企業・団体は316社を数え、16年間続くイベントで、総来場者数も3日間で、35,000人と、かなり大きな催物でした。

ワークスさがた「ぱんげあ」としては、初めての出店だったため、参考資料を確認しながら(写真等)準備していたのですが、経験者がほとんどいなかったことから、どれも手探り状態となりました。

利用者さんもいっしょに参加されましたが、行く前はどんなイベントだろうと、とても緊張されていた方も、いざ現地に着くと、お客さんがひっきりなしに来られ、緊張もどこへやら、とても意欲的に接客されてました。中には、「来年もいきたい。」と、笑顔で話される方もおられ、とても充実した3日間となりました。





## 粘土について思う

2012年の4月、「第14回土と色展」の反省会に参加した時のことだ。「南浮さんって、お父さんはびわこ学園の…?」と、声を掛けられた。元第二びわこ学園の職員で、粘土室を担当していた田中敬三さんだった。父とは、一緒に仕事していた旧知の仲で、何年も前に、家にも訪れたことがあると話された。帰宅し、父に報告する。「そうか、田中さん元気やったか。本も出しかあたな。」と手渡された本が、『粘土でにやにゆによ』（岩波ジュニア新書）だった。

田中さんが、粘土室を通して見てきた出来事、利用者さんの様子、思いが端的な表現で書かれている。随所に挿まれるスナップ写真が、また秀逸だ。創作活動担当者の参考になることだけではない。エンパワメント、行動障害の緩和など、生活支援員としても参考になる事例もあるので、興味ある方は、ぜひ読んでいただければと思う。

一気に読みし…アール・ブリュットってこういうことを言うのだろうかとの答えをいただいた気がする。つまり粘土活動は、たとえ、形を作らなくても、触らずにじっとしていても、その人と粘土との関係性を表現する時間なのではと、そう思うようになった。

今年度、粘土部会のあり方を大きく変えた。それまでは、他事業所からの参加者30人分の準備・後片づけに追われただけの時間だったものから解放された。そして、「まこも」で創作活動を行う機会が飛躍的に増え、じっくりと支援に取り組むことができた。その結果、魅力的な作品も多く創作されました。特に、Kさんの作品は、「第15回土と色展」に、Mさんの作品は、「第4回ぴかつてoアート展」に、そしてFさんの作品は、「第11回滋賀県施設合同企画展」と、県内の大きな作品展に次々と出展することができた。これからも、そんな風に粘土活動が続いていければと思う。

湖北まこも 南浮眞亮



## 田中優さんスペシャルオリンピックス福岡大会 卓球・個人競技ディビジョン2 優勝!

11月1日から3日までの3日間、福岡県のマリンメッセ福岡を主会場に、2014年第6回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・福岡が開催されました。この大会で北九州市総合体育館で行われた卓球競技に SON 滋賀より個人技能競技に、ワークスさぼてんの田中優さんが出場され、ディビジョン2で優勝されました。

この競技は、ハンド・トス、ラケット・バウンズ、フォアハンド・ボレー、バックハンド・ボレー、サーブの5つの競技で構成されています。

田中さんは、開始前少し緊張されている様子でしたが、実際に競技に入ると緊張もほぐれ、普段どおり集中して競技に臨むことができたとのことでした。この満足のいく結果に本人は、大興奮の様子でした。また、この優勝が大きな自信と意欲につながっているように感じました。田中さん、優勝おめでとうございます、そして私たちに喜びと感動をありがとうございました。





## ★やまぶき シフォンケーキ★



コーヒーとの相性  
バツグンです!



- ★プレーン味
- ★抹茶味
- ★ココア味
- ★バナナ味
- ★コーヒーマーブル味
- ★オレンジ味
- 6種類!!

**ご注文お待ちしております!!**

## ゆるり 迎春



ゆるりでは、工作の時間に季節ごとの壁面飾りを制作しています。

利用者さんとスタッフが協力して作り上げた作品は、いつも温かみを感じさせる素敵なものに仕上がって、みんな大満足にて笑顔があふれます。

「良い年となりますように」との各人の願いを込めて…。ゆるりの新年は、ここから始まります。



## あそしあ 初詣 2015



あけましておめでとうございます。

今年一年の安泰を願ひまして、長浜八幡宮へ初詣に行ってきました。

みなさんは初詣に行って、どんな願い事をされましたか?

昨年を振り返りますと、日々の暮らしの中で楽しいこと、笑顔あふれること、悲しみを共にすることなどいろいろな出来事がありました。

さて、本年はどんな出来事があるのか楽しみです。あそしあ職員一同、利用者のみなさんの生活を陰で支えながら、日々充実した生活が送れるよう一生懸命努めてまいります。

皆様のご健勝とご発展をお祈りいたします。

本年もよろしくお願ひいたします。

あそしあ職員一同



## 冬の準備

### (ほっふる編)

冬将軍到来に備えて、準備万端整いました。でも、正直なところ大雪は、ご勘弁いただきたいです。



▲建物の雪囲い設置完了



▲除雪機の点検完了



## シリーズ

# おすすめスポット vol.1

事業所「いぶきやま」のお勧めナンバーワンスポットは、誰がなんと言ってもこの豊かな自然に恵まれたロケーションです。ある時には、自然の厳しさを感じたり、またある時には自然の温もりを感じたりします。日々、伊吹山のパワーを頂きながら毎日、利用者と職員が力を合わせて、頑張っています。

雄大な Mt.IBUKI に目を向けると、いつも心が癒されます。皆さんも、間近に拝見できる事業所「いぶきやま」に是非足を運んでみてください。



## 新顔登場 『新人職員紹介』



### ワークスさぼてん 久保田晶子

今年度就労継続支援B型事業所「ワークスさぼてん」に配属となりました。

一番心配していた夏の富久や（外勤）も、利用者さんとともに、無事クリアでき、ほっとしています。

私の生活支援者としてのモットーは、「大きな耳・小さな口・優しい目」です。

大きな耳… 一人ひとりの声を聞く。情報や、ニーズをキャッチ。

小さな口… 守秘義務。

優しい目… 受け入れる。アイコンタクト。観察する。

そして、自分が何のためにこの仕事を選び、何のために働いているのか、原点に立ち返りブレることなく、利用者さんが、生き生きと働けるような支援を心掛けていきます。



### あそしあ 前田 昌宏

「あそしあ」に配属となって、入所施設の変則勤務に戸惑いながらも、日々

勉強の毎日です。

利用者さんの気持ちを汲み取り、楽しく穏やかに過ごしてもらえるような支援を心がけ、自分自身も楽しく仕事ができるように頑張っていこうと思います。

#### ●趣味

車いじり レアな昭和 60 年式の CELICA XX を所有しています。麻雀は、飯を食うより好きです。余裕ができたなら、溜まっているプラモデルの組立とラジコンがやりたいなあ。あとは、温泉が大好きで、気が向いたら近場の温泉でほっこりしています。

最近、愛車の CELICA XX に全然乗っていないのでストレスが溜まりまくり・・・

#### ●長所

何事も深く考え込まないこと。失敗を恐れないこと。

#### ●短所

くだらないことにこだわりを持ってしまうこと。一旦思ったらやってみないと気が済まないこと。

## 編集後記

あ～あ、早いもので今年度(平成26年度)も残すところ・・・。原稿依頼をしながら、日の短さにかかにも冬だなあと実感が湧いてきます。

冬と言えば、“こたつのみかん”ですよねえ！もう動きたくないと思うのは、私だけでしょうか。

みかんにちなんで、ちょっと豆知識「油性ペンで書かれてしまった落書きは、みかんの皮でこすると落とすことができます。みかんの皮に含まれているリモネンという成分が、インクを溶かしてくれるそうです。」

では、こたつに入ってみかんを食べながら、広報こほくかいをお読みください。

編集委員：大岩 憲市

